

留学先大学： ヴェネツィア大学  
 留学先での所属学部・研究科： 人文学部  
 留学先での在籍身分： 交換留学生  
 留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部  
 学年（出発時）： 3年  
 本報告書記入日： 2013 年 8 月 15 日

### 授業について

留学中に履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	Italian for Foreigners	Francesca	90分×4	6	約20	毎日少しの宿題あり。中間テスト後、週90分×2に減る。
2	Architectural and Urban Heritage	Guido Zucconi	90分×4	6	約20	参考文献を使って予習、復習、数回の課外授業あり、最終レポート
3	Globalization and Cultural Heritage	Bruno Bernardi	90分×4	6	約20	参考文献を使って予習、復習、グループプレゼン、最終レポート
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

授業（カリキュラム等）のクラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

カ・フォスカリ本校での授業は非常に多岐にわたるが、講義形式がほとんどである。教員の指導方法は工夫が凝らされていて生徒の受講態度も極めて意欲的である。授業ごとの課題や課題図書が多く、学期末試験も非常に難しいレベルであるため生徒は普段から日常的に自習を行っていて、アルバイトをしている学生は少ない。オフィスアワーが充実していて担当教員と個別に相談に応じてもらえる。VIUでは約20人までの少人数授業で、生徒の意見を取り入れながら行われるが授業ごとに特色は様々である。世界中の提携大学から派遣された教授が行う国際的で学際的な授業を受講することができる。成績評価は出席状況と課題、期末レポートまたはテストを合わせて評価される。留学生向けイタリア語の授業（VIU）は語学学校から派遣された専任講師による授業で非常に分かりやすい。

### 費用について

留学期間を通して必要だった費用を記入してください。（概算で結構ですので、円価で記入してください。）

- ・航空運賃： 150,000
  - ・住居費：（月額） 35,000 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 350,000
  - ・食費：（月額） 25,000 ×（留学月数） 10 ヶ月 = 250,000
  - ・保険料： 185,000
  - ・その他： 船の定期代 2,500 × 10か月 = 25,000
- 合計： 約100万 （留学期間全体の費用）

## その他 自由に記入してください。(800字～)

ヨーロッパを訪れるのも海外で長期滞在をするのも初めてだった私にとって、1年弱の海外生活は帰国直前まで常に新しい出会いが絶えない非常に新鮮で刺激的な毎日でした。日本との違いや日本にはない習慣・文化を知る度に、また日本人にはない思考で物事を語る人びとと出会い交流を重ねる度に、自分の中で常識だったものが次々と崩されていく感覚は何とも心嬉しいものでした。その結果、イタリアに対して感じた美点欠点に応じる形で、日本で生活している時には思いつきもしないような日本の美点欠点も発見することができたのは大きな収穫であったと思います。

帰国後に再会した家族や友人からはイタリアっぽくなったと言われる場面も往々にしてありますが、自分ではむしろ自分のいかにも日本人らしい言動に意識が向くようになり、より日本人的になった部分もあると感じます。一年弱の滞在ですっかりイタリアの色に染まってしまうかと思いきや、反対に自分が日本人であるという意識、ひいてはアジア人であるという意識を強く持つようになるとは想像もつきませんでした。ヨーロッパから見れば全く民族の異なるアジア人についての認識は人によって大きく差があり、一部の国に対して強い偏見や誤解を持っている人も少なくありませんでした。また大半の人にとっては日本人と中国人、韓国人を見た目で判断することは困難らしく、中国系移民の多いイタリアではとりわけ中国人と間違われることが多かったです。街中で出会うアジア系の人とは、親近感が芽生えるのか不思議と安心感を覚えたりすぐに打ち解けたりといったこともよくありました。アジアに関心のある人からは、遠慮なしに日中韓の領土問題や北朝鮮問題などへの意見を求められたり、日本の伝統文化や歴史に関する質問を受けたりすることも多く、日本やアジア近隣諸国への関心が高まっていたのはごく自然なことでした。

こうした体験は日本とかけ離れた環境に行けば長期留学でなくとも可能でしょうが、長くいればいるほどその機会は増すのに加え、同じ物事に対して最初の頃とは違う見方や感じ方をするように自分自身も変化したり、留学当初だから気付けたことがあれば、しばらく暮らしてみたらこそ目が向くようになったこともあったりと、その都度その都度自分の思考が刺激を受け続け、自らを成長させていくことができるのは長期留学ならではの魅力であると思います。